

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年8月21日～8月27日)

平成 26 年(2014 年)8 月 29 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
政治 トウスク首相, 下院にて政策演説を実施 ポーランド首脳, ウクライナ独立記念日にメッセージを発出 ポーランド外務省, ロシアのトラック車列のウクライナ領土侵入を懸念する声明を発出								【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先: 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の
経済 経済省が2014年の経済予測を発表 PAIIZ は本年172の投資プロジェクトを支援 7月の失業率は11.9% 新規受注が更に増加 7月の消費は引き続き増加 1-5月期の自動車関連輸出は前年比増 家電製品の販売が記録を更新 石炭の輸出は減少 バルト海油田開発に関する金融支援に合意 PGEが新たな炭鉱を2018年に開発予定 大多数のポーランド人が原発を支持								
大使館からのお知らせ 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分) 大使館広報文化センターの開館時間について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事								
在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm								

政 内	治 政
<p>トウスク首相、下院にて政策演説を実施【27日】 27日、トウスク首相は下院にて来年秋の総選挙までの政策運営につき演説を行い、2015年の月額3,300ズロチ以下の年金受給者に対する最低年金増額水準をこれまでの10ズロチから36ズロチに引き上げる方針や3人以上の子供を抱える家庭への税</p>	<p>控除率を20%拡大させる方針を示した。ウクライナ情勢に関し、同首相は、EU及びNATOの政策がポーランドの視点にできる限り近づくようポーランド政府として影響力を発揮するよう努力する旨述べた。また同首相は、防衛費を2016年にGDP比2%の水準に増大させる方針も併せて示した。</p>

外 政	外 政
<p>ポーランド外務省、ロシアのトラック車列のウクライナ領土侵入を懸念する声明を发出【23日】 23日、ポーランド外務省がロシアのトラック車列がウクライナ政府の合意を得ない形でウクライナ領土に侵入したことに深い懸念を表明する声明を发出した。同声明は、ロシアによるウクライナ政府及び国際赤十字代表との合意に反する一方的な行動は(ロシアによる)更なる国際法違反にあたり、紛争を激化させるものであるとの認識を示している。</p>	<p>ポーランド首脳、ウクライナ独立記念日にメッセージを发出【24日】 24日、コモロフスキ大統領は、同日のウクライナ独立記念日に際し、ポロシェンコ・ウクライナ大統領に対して、ロシアによる侵攻及び国際法違反を強く非難すると共に、ポーランドがウクライナとの関係強化を重視している内容の書簡を发出した。同日、トウスク首相は、自身のツイッターにて、独立したウクライナなくして自由な欧州は存在しない旨のメッセージを送った。</p>

経 済	経 済
経済・財政政策	

<p>経済省が2014年の経済予測を発表【25日】 経済省が四半期報告を発表し、2014年の年間GDP成長率予想を財務省と同様に3.3%とした。2014年前半の消費が2.5%増、投資が7.1%増となったことから、内需の寄与が大きくなると分析している。また、年間インフレ率は0.3%に下方修正され、失業率に関しては経済回復が労働市場に完全に反映されるにはまだ時間が掛かるとして12.3%と予測している。</p> <p>PAIiZ は本年172の投資プロジェクトを支援【26日】 ポーランド情報・外国投資庁(PAIiZ)は、本年31</p>	<p>企業との間で協力合意文書を交わし、172の投資プロジェクトを支援する。これらは計17億ユーロ、6,000人の雇用創出を見込んでいる。昨年は53プロジェクト、12.7億ユーロの規模で約19,000人の雇用創出となった。今回の企業の中には、グダンスクのWadakyu Europe社、ラドムスコのUnion Industires社等も含まれている。PAIiZの手がけたうち最もプロジェクト数の多かったのは米国企業(54プロジェクト、9.6億ユーロ)、次いでドイツ企業(35プロジェクト、3.7億ユーロ)、英企業、仏企業(共に11プロジェクト)であった。</p>
--	---

マクロ経済動向・統計

<p>7月の失業率は11.9%【26日】 中央統計局(GUS)によれば、7月の失業率は前年同月の13.1%より大幅に低く、前月の12.0%より僅かながら更に改善された11.9%となった。また7月末の登録失業者数は、1,878,500人。新規求人は、前月より13.1%増、前年同月より24.2%増となる96,500人。74の企業・団体が、公的部門200人を含めた1,800人を近い将来解雇予定としており、前年同期に解雇予定とされた78企業・団体による公的部門900人を含む4,300人より大幅に減少している。</p> <p>新規受注が更に増加【26日】 中央統計局(GUS)によれば、7月の新規受注は、前年同月比で6月の同0.4%増より更に増加</p>	<p>した0.7%増となっている。前月比でも6月の同3.2%増より増加した6.4%増となっている。同様に7月の輸出受注は、前年同月比で6月の同1.3%増より大幅に増加した12.5%増、前月比では6月の4.2%増より増加した同9.2%増となっている。</p> <p>7月の消費は引き続き増加【26日】 中央統計局(GUS)によれば、7月の小売販売は、前年同月比で6月の同1.2%増より増加した2.1%増となった。実質ベースでは3.1%増。前月比では6月の同1.1%減に対し4.7%増となっている。低調ながらも食料品、家電、医薬品等の分野が回復してきており、ディスカウントストアでの販売も増加している。</p>
---	--

ポーランド産業動向

1-5月期の自動車関連輸出は前年比増【22日】

Automotive Suppliers は、2014年1-5月期の自動車産業の輸出は、前年同期比0.8%増の78億ユーロであったと発表した。5月の輸出は前年同月比1.36%増の約16億ユーロであった。最大の輸出先はEU向けが80%となっており、ドイツ(31%)、イタリア(10%)及び英国(8%)が主な仕向地となっている。EU域外への輸出については3%増加となった。Automotive Suppliers は、本年の輸出見通しを昨年の179.1億ユーロを上回る約190億ユーロになると予測している。

家電製品の販売が記録を更新【22日】

2014年1-7月期の白物家電の販売が前年同期比で数量ベースで7%、金額ベースで10%の増加となった。小型家電についてはより大きく増えている。専門家は、経済の回復とそれに伴う賃金の上昇により需要が増えていると指摘している。また、インフレによる価格上昇がほとんど見られないため、購入しやすい金額が維持されていたことや、新製品需要の高まりも販売増に寄与していると考えられる。販売量の大きかったのは、冷蔵庫や食器洗濯機、掃除機等であった。

エネルギー・環境

石炭の輸出は減少【25日】

経済省の発表によれば、2014年上期の石炭輸出は430万トンで前年同期比26%のマイナスであった。Eurostat の統計では32%のマイナスとなっている。専門家は今後数年間この傾向が続くと指摘している。高い石炭採掘コストと国際市場価格の低下がポーランドの輸出に影響を与えている。2014年上期の海外からの石炭輸入が500万トンに達する中、ポーランド産石炭は国内でも海外炭と競争をしなければならない。輸入炭のうちロシア産炭の輸入は330万トンであり、オーストラリアからの輸入も増えてきている。

している。発電所の建設も2025年に計画されており、計画通りに進めば、2030年に同炭鉱で採掘された石炭による発電が可能となる。ただし、2016年以降に採掘許可を得ることに加え、欧州委員会の気候変動政策の動向にも影響を受けることになる。トウスク首相は本プロジェクトはポーランドのエネルギー安全保障に資するものであると述べている。

バルト海油田開発に関する金融支援に合意【26日】

Lotos Petrobaltic 社は、ポーランド開発投資(PIR)社、BGK及び Bank Pekao との間でバルト海にあるB8油田開発への金融支援に関する合意文書に署名した。拠出額はPIRが4.3億ズロチ、金融機関が6.6億ズロチとなる。このプロジェクトの規模は計18億ズロチとされている。カルピンスキ国有財産相は、本プロジェクトについて国内資源の開発及びエネルギー安全保障へ寄与する旨述べている。

大多数のポーランド人が原発を支持【26日】

政府系シンクタンクである国際問題研究所(PISM)が今年4月に実施した原発建設プロジェクトに関する意識調査によれば、回答者の64%近くが原発建設プロジェクトに賛成し、23%が反対という結果になった。エネルギー・セキュリティの観点でまず力を入れるべきものとして、58%が再生可能エネルギーを、48%が原子力を選択する一方、シェールガスを選択したのは21%であった。技術開発の優先度について、70%が原子力以外の他のエネルギー技術を選択している一方、原子力分野の知識についての質問については、42%が限られた知識しかないと回答している。また、この調査では、原発建設への支持が地域ごとに大きく偏っていることも明らかになっており、地元団体が反原発キャンペーンを行った地域では最も低い支持となっている。

PGEが新たな炭鉱を2018年に開発予定【26日】

ポーランド最大の電力会社であるPGE社は、2018年にポーランド西部グビンでの炭鉱開発を計画

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間について

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸

出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成 27 年 3 月 31 日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記 HP をご覧下さい。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本のフレーム写真コンテスト【5月10日(土)～8月31日(日)】

ラッキーマンデー社主催による『日本のフレーム写真コンテスト』が開催中です。また、9月26日からクラクフ市にて日本美術技術博物館 Manggha との共催による『日本の最新技術における専門家フォーラム』が予定されています。

詳細: www.japonskiekadry.pl

【開催中】文化ポスター展【6月5日(木)～8月31日(日)】

ワルシャワにて、ワジェンキ宮殿博物館主催で、日本と中国のグラフィックデザイナーによる作品展『文化ポスター展』がオープンエアギャラリーで開催されています。日本からは U.G.サトー氏の作品が展示されています。

開催場所: ワルシャワ, ワジェンキ宮殿博物館, ul. Agrykoli 1

詳細: <http://www.lazienki-krolewskie.pl/en,Cultural-Poster---Jianping-He-and-U.G.-Sato.html>,

<https://www.facebook.com/events/766453450061359/>

【開催中】「国境地帯の遺産」セミナー【8月28日(木)～9月6日(土)】

クラクフにて、国際文化センター主催による『「国境地帯の遺産」セミナー』が開催されます。EUIJ 東京コンソーシアムの研究者による V4 諸国の国家遺産に関する講座が予定されています。

開催場所: クラクフ, 国際文化センター, ul. Rynek Główny 25

詳細: <http://www.mck.krakow.pl/page/wspolpraca-z-japonia>

【予定】日本一美しい庭園写真展【9月3日(水)～9月30日(土)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミーの植物園主催による『日本一美しい庭園写真展』が開催されます。スタニスワフ・ロシコフスキ氏撮影による日本庭園の写真が展示されます。

開催場所: ワルシャワ, ポフシン, ul. Prawdziwka 2

詳細: http://www.ogrod-powsin.pl/index_a.html

【予定】Breaking Stereotypes: Japan【9月3日(水)】

ジェシュフにて、国際プロジェクト協会「INPRO」主催による『Breaking Stereotypes: Japan』の会が開催されます。ポーランド人が持つ日本のステレオタイプを壊し、新たな側面を探し出す討論会が予定されています。

開催場所: ジェシュフ, Trattoria Al. Forno, ul. Kraszewskiego 6/6

詳細: <https://www.facebook.com/events/1464893230443327/>

【予定】日本映画祭【9月9日(火)～11日(木)】

ワルシャワにて、ポーランド未公開の東宝映画新作 5 本による「日本映画祭」が開催されます。各映画入場料 7 PLN。

上映スケジュール:

9月9日 20:00 日本映画祭オープニング

「あなたへ」(降旗康男監督、2012年)

9月10日 18:30 「少年H」(降旗康男監督、2013年)

20:45 「奇跡のリンゴ」(中村義洋監督、2013年)

9月11日 18:30 「県庁おもてなし課」(三宅喜重監督、2013年)

20:45 「プラチナデータ」(大友啓史監督、2013年)

開催場所: ワルシャワ、「プラハ」映画館, ul. Jagiellońska 26

詳細: <http://www.kinopraha.pl/wydarzenie/przeglad-kina-japonskiego-kinie-praha>

主催: 在ポーランド日本大使館、国際交流基金、映画館「プラハ」

【予定】第15回日本文化フェスティバル「Asucon」【9月13日(土)～9月14日(日)】

カトヴィツェにて、シロンスク・ファンタジー・クラブ主催による『第15回日本文化フェスティバル「Asucon」』が開催されます。日本に関する講座、ワークショップ、知識コンテスト、コスプレ、ゲーム、着付け、茶道等が予定されています。

開催場所: カトヴィツェ, Slaskie Techniczne Zakłady Naukowe, ul. Sokolska 26

詳細: <http://www.asucon.pl>

【予定】第5回オープン柔道選手権【9月13日(土)】

ジャルフ市にて、学生スポーツクラブ「Judoka Imbramowice」主催による『第5回オープン柔道選手権』が開催されます。

開催場所: ジャルフ市, Gminne Centrum Kultury i Sportu, ul. Piastowska 10a

詳細: <http://www.judoka.com.pl>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)